評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ニーズをとらえる力
［9-新人］日常生活自立度の評価方法の基本

1．日常生活自立度判定の目的とは何か？

日常生活自立度判定の目的とは何か？
患者の自立度に応じた適切な看護を実践するために、患者個々に対して、適切な指標を用いて、適切な評価をすることが目的である。

2．日常生活自立度の判定ランクはどのように活用するか？

日常生活自立度の判定ランクはどのように活用するか？

- 介護保険法における要介護認定・要支援認定において、介護サービスを受けるための重要な調査指標
- 認定後のケアプラン（介護計画書）作成の基本情報病院や介護などの現場間の共通の指標
  (例：病院から介護現場、ケアマネからデイサービスへの申し送り)
- 全入院患者の中から褥瘡対策が必要な患者を抽出する際の評価指標
- 認知症高齢者に適切な処遇を行うための評価指標

3．日常生活自立度が適切に評価されないことで患者にどのようなデメリットが生じるか？

日常生活自立度が適切に評価されないことで患者にどのようなデメリットが生じるか？
患者に適切な評価がなされない場合、適切な看護が提供されない
例）認知症が適切に評価されないことで十分なサポートが受けられない等の問題が発生し、認知症症状の悪化、介護度が上がる、自宅退院が困難などの問題に発展する。